愛労連

愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町９－７
労働会館東館３Ｆ
ＴＥＬ052－871－5433
ＦＡＸ052－871－5618
ＵＲＬhttp://www.airoren.gr.jp
発行人　榑松佐一
第187号　2009年２月10日

３・15春の大集会
と　き　３月15日(日)13時から
ところ　久屋市民広場
※集会終了後、栄広場までパレード

名古屋城 本丸御殿に150億円!!

名古屋市 これって、今やること？

閉園時間が近づき、本丸御殿復元工事を始める作業員

派遣切りにあい、仕事や住まいを失った労働者が、生活保護申請のため、中村区役所に連日、集まってきています。対応に追われる職員が疲弊する中、名古屋市が今、本当にすべきことは本丸御殿を復元することなのでしょうか。

4大大型プロジェクト 総事業費1000億円

名古屋市は、ポスト万博として4大大型プロジェクトのひとつ「名古屋城本丸御殿復元」に150億円をつぎ込む予定です。総工費のうち50億円を市民や地元企業からの寄付に頼るとしていますが、「急激な景気悪化の影響を受け、昨夏から伸び悩んでいる（1／20読売新聞）」と報道されています。寄付金額のメドも立たない中、1月19日には復元着工記念式典を開きました。

中村区役所には連日…

住居ない人があふれているのに

なぜいま本丸御殿？

市が打ち出した4大プロジェクト（他に東山動植物園再生プラン500億円・モノづくり文化交流拠点200億円・陽子線がん治療施設270億円）の総事業費は1000億円超。

大切な税金が100億円単位で予算化される一方、派遣切りにあい、住居を失った労働者が連日、中村区役所に集まっています。

他府県からも救済求め

中村区の生活保護係には、年明けの5日から平均100名の相談者が訪れます。2月3日までに2110人が来所。状況は1ヵ月たっても変わりません。

面接員の菅谷秀昭さんは言います。「毎日、新規の相談者が20人ほど訪れます。いつの時点でパンクするか…」。45人いる保護係でも国の基準に照らすと、まだ10人足りません。「現状では家庭訪問など、本来の業務ができなくなっています」。相談を受ける職員の体も心配です。

大阪から名古屋のシェルターへ

昼休みにはボランティアによる炊き出しがおこなわれ、待合室と化した講堂前のロビーに相談者が並びます。順番を待つ3人組の一人は大阪で派遣切りに。

「小型テレビをつくっていた」と話す男性は大阪の自治体から紹介され、名古屋のシェルター（緊急一時宿泊施設）を求めて来ました。

「アパートは決まったので、仕事探しを始めてます」と男性。順番を待っている間、相談者同士で情報交換をしています。

行政・企業は責任果たせ

面接員であり、組合では支部の副支部長をつとめる菅谷さん。「相談者の多くは少額しか持ち合わせていません。緊急の要求として、まずは宿泊場所です」と施設の確保が最優先と話します。「派遣切り対策は、そもそも福祉の問題ではなく、労働行政の問題」とも指摘。

労働者派遣法の抜本改正などを早期に実現し、労働組合として「行政・企業」に社会的責任を求めていく必要があります。（R）

臨時受付所で相談者の応対をする職員

公立保育園をなくさないで！

直接請求運動始まる

住民投票条例

1月22日、中区・栄のナディアパークで「直接請求署名スタート集会」がおこなわれ、600人が集まりました。

集会実行委員会は「民間保育園の補助金を守り、名古屋全体の保育水準を切り下げないためにも、公立保育園を守ることが大切」と発言。公立保育園廃園・民営化の是非を問う住民投票条例の制定をめざして、1ヵ月間で10万筆の署名を集める目標です。

壇上で発言した瑞穂区の受任者（署名を集める人）代表は「住民投票をし、市民の声をきちんと受け止めてから決めてほしい。そのためにも頑張ります」と決意を述べました。

こうむ

「備えあれば憂いなし」などといって、アメリカの戦争に日本を組み込む有事法制を次から次へと成立させてきたのが小泉純一郎（あえて呼び捨て）。彼は「自衛隊のいる所が非戦闘地域」と、憲法の交戦権否認をくぐり抜ける詭弁を弄してイラク派兵まで行った。結果は、「政府の解釈によったとしても憲法九条第1項に違反する」という08年4月17日の名古屋高裁判決（確定）です▼似たものに「内部留保将来の備え」としたのが、日本経団連副会長大橋洋治氏（全日本空輸会長）でした。中日新聞の1月28日付「春闘09雇用・賃金の行方」で連合事務局長との「労使対論　展望を聞く」での大見出しです▼内部留保という言葉自体が、愛労連、全労連などでしか使われなかった印象があるとき、昨年12月24日の中日新聞1面に「内部留保33兆円…4万人削減」「6年半で倍増　ため込む企業　16社中5社が増配へ」と取り上げた。隔世の感がある▼今は、あたかも自然災害のごとく「百年に一度の経済危機」と言われている。これまで賃上げなどを拒む理由として「将来の備え」としてきたのをそのまま使うところに、財界のうろたえ振りと同時に頑なさも見える。しかし、世論は「株主配当よりも雇用」と我々を後押ししている。（福）

職場地域で話しあってみよう！

ソマリア沖〝海賊対策〟口実に 自衛隊の海外派遣を狙う

1月28日、政府の安全保障会議は、アフリカ東部のソマリア沖に、海上自衛隊の護衛艦を派遣することを正式に決定しました。海賊対策のため、自衛隊法に基づく海上警備行動だとしています。さらに麻生首相は、これは「当面の応急措置」で本格対応のための新法案を3月に国会に提出すると表明しました。

武器使用基準の大幅緩和も

海上警備行動を定めた自衛隊法第82条は、日本近海での人命財産の保護と海上秩序維持の規定であり、こんな拡大解釈がまかり通るなら、世界のどこにでも自衛隊を派遣することができてしまいます。

海賊対策を口実の派遣は、憲法と自衛隊法に照らしても絶対に許されません。

武器使用基準も大幅な緩和をねらっています。海賊船への立ち入り検査、停船、制止を実施する方針で、船体への攻撃や射撃も想定し、相手を殺傷する場合も考えられます。しかも武器使用基準は公表しません。

解決は軍事力ではなく警察権で

問題のソマリアは、1991年以来の内戦で、国土と経済が破壊され、海賊の絶好の標的になっています。

海賊行為は犯罪です。したがって軍事力ではなく、警察権で対応すべきであり、本来海上保安庁は、周辺国が行っている海上警察活動への財政・技術支援であり、自衛隊の派兵を行うべきではありません。（克）

雇用守る闘い 最大の課題に

第40回愛労連臨時大会　傍聴者も含め、170人が参加し、活発な討論で春闘方針を決定した＝１月25日

派遣切り問題で機敏に対応

愛労連は、蒲郡勤労福祉会館で第40回臨時大会を開催し、09春闘方針を決定しました。

今年の春闘は「トヨタが引き金をひいた」非正規切りが全国に吹き荒れるなかで始まりました。

羽根議長は「昨年末には全労連も参加する「派遣村」がニュースなどで大きく取り上げられ、愛労連の宣伝行動もＮＨＫで報道されている」と紹介。

秋の組織拡大月間では昨年の2倍の１２００人が加入し、なかでもＪＭＩＵ愛知地本には３ヵ月で３５０人もの外国人労働者が加入しています。

「首相ですら大企業の内部留保を口にせざるをえない。いま全労連・愛労連、たたかう労働組合の出番だ」とあいさつしました。

最賃生活体験に１００人の青年が参加

青年協幹事全員が最賃体験に取り組むなど、今年も１００人をこす青年が「体験」に参加します。今年の春闘は「すべての労働者がまともに暮らしていける雇用も賃金も」と要求してたたかわれます。

ハローワーク、地域の公的病院、県立高校の授業料滞納問題など市民・国民のくらしを守る公務職場のたたかいもリアルに報告されました。

保育の仲間からは民営化反対の取り組み、天白労連からは名古屋市長選挙勝利にむけたたたかいの決意が語られました。

3・15春の大集会へ

この春は愛労連・愛商連・新婦人・社保協の4団体で共同行動が取り組まれます。2月18日、地域総行動に続き2月22日、「くらしと営業、生活・労働街頭相談」（栄スカイル前）を共同で開催します。

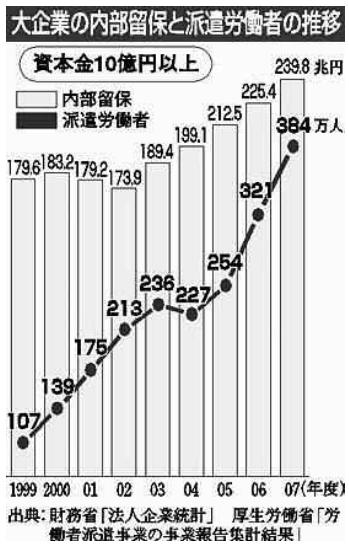
3月15日には久屋市民広場で「春の大集会」が開催されます。集会前後には各駅で宣伝行動・アピール行動を行い名古屋市内を〝騒然〟とさせましょう。

愛労連のとりくみ全国に

大会では名古屋市職労から「派遣切りされ住むところを失った労働者が中村区役所に殺到している」実態が報告されました。

今年の春闘は非正規労働者の雇用問題が大変重要になっています。ＪＭＩＵ、建交労などから中小企業の厳しい経営実態が報告される一方、三菱電機の派遣切りとたたかう全国一般名古屋北部青年ユニオン、同豊橋地域分会の青年から元気にたたかっている発言がありました。

通信労組、郵産労、銀産労など少数組合でも全労働者の要求を掲げてたたかい、大きな成果をあげている報告が行われました。



しんぶん赤旗より

安全衛生ひとくちメモ

職場の安全は法律を具体化させる労組の役割大

労働契約法では、派遣切りの中途解約を認めない条項として17条が有名になりましたが、安全配慮義務を明文化した第5条も忘れてはなりません。

第5条（労働者の安全への配慮）使用者は、労働契約に伴い、労働者がその生命、身体等の安全を確保しつつ労働することができるよう、必要な配慮をするものとする。

安全配慮義務の考え方は、労働者がうつ病に罹患し自殺した電通事件の最高裁判決（00年3月24日）など、裁判例の積み重ねによって当然視されては来ました。

しかし、この条文は使用者の「職場環境整備義務」「職場環境調整保持義務」を明確に定めてはいません。これらを安全配慮義務の延長線上にあるものとして具体化させていくのは、労働組合の役割です。

1月13日（月）、労働会館東館ホールで「２００９年新春の集い」が、争議団、自由法曹団、国民救援会の3団体合同で開催されました。

愛知争議団からは黒島英和議長が一年の闘いを振り返ってあいさつ。

「トヨタ過労死裁判、内野さんの勝利判決につづき、2月と7月に取り組んだ裁判所包囲宣伝行動など共同の行動が、スギヤマ薬品、トヨタ・デンソー労災裁判での勝利判決へと勝利の流れをつくり出しました。そして争議団は、愛労連・地域労連に結集し、争議団として組合を組織して活動し、派遣切り、雇い止めは許さないとたたかう仲間を励まし、共に頑張りたい」と、すべての争議の一日も早い解決をめざして、奮闘する決意を表明しました。

たたかう仲間たち　NO.50

すべての争議の一日も早い解決めざし
派遣切り、雇い止めは許さない、共同のたたかいを

2009年新春のつどい開催

愛知争議団連絡会　事務局長　勅使河原勇

続いて、自由法曹団宮田陸奥男支部長、救援会阪本貞一会長からそれぞれ主催者を代表してあいさつを受けました。

あいさつにかけつけた太田よしろうさんは、「40年間米屋をやり、市民の生活をいつも間近にみてきて、これではいかん…と。本山市政で『ポストの数ほど保育所を』と掲げた市民の運動のように、憲法・福祉が根付く市政の実現に向けて頑張る」と決意が表明され、「みなさんぜひとも、ご協力をお願いします」と訴えがありました。

あいさつのあとは安藤巌会長の音頭で乾杯をおこない、社会人グループ「須鼓路（すころ）」の皆さんによる大須太鼓の元気な演奏を聴いて、酒を酌み交わしました。

その後、救援美術展の取り組みから激励金が、各争議団・えん罪支援組織に渡され、最高の激励を受けました。

最後に、争議をたたかっている仲間が紹介され、それぞれ思いと決意を語り、盛況の中、２００９年新春のつどいは閉会しました。

最賃引き上げ・だれでも1万円以上

賃上げこそ内需拡大

09春闘

09春闘が本格化しました。愛労連は、非正規切りがすすむなか、雇用を守る課題を前面にかかげ、内需拡大をめざし「雇用も賃上げも」実現しようと、すべての単産・地域でとりくみをすすめようとよびかけています。

講演のあと野村さん（全労連青年部書記長）と生活体験を決意し、ガッツポーズする青年＝1月23日

俺たちもチャレンジ

「生活保護」より「最低賃金」が高い？

生活体験で暴いてやろう

愛労連は賃金の引き上げについて、最低賃金時給1000円以上をめざしています。2月を「最賃生活体験月間」とし、現行の時給731円で月額計算した額（108000円余）で生活し、最低賃金の低さを暴露しようというものです。体験に先だって1月23日、学習会を開催。北海道労連青年協・最賃ヒキアゲルンジャーの経験と、最低賃金引き上げの意義を、野村昌弘・全労連青年部書記長の講演で学びました。

最賃抑制のためでたらめな比較

昨年厚労省は、「愛知は生活保護水準より最低賃金が上まわっている」という結果を出しました。生活保護水準は低く、最低賃金は高く見せかけました。最低賃金を抑制するためです。

1万円の賃上げは消費拡大に直結

最低賃金の引き上げとともに、だれでも1万円の賃上げをかかげています。正規・非正規問わず、すべての労働者に1万円以上の賃上げが実現すれば消費は大きく拡大します。

ワーキングプアや低所得層は、賃上げ分を貯蓄するゆとりがなく、必需品購入に回します。消費拡大は地元経済に好影響をあたえ、ひいては中小零細企業の活性化につながります。

大企業の輸出頼みの経済から内需拡大の経済に転換していくために、雇用確保とともに、「だれでも1万円以上」の賃上げは大きな意義があります。

雇用保険制度の改正・拡充が急務

現在非正規労働者は1700万人といわれ、そのうち1006万人が雇用保険未加入といわれています。

短期雇用の契約をくり返している非正規労働者はほとんど加入していません。

いま、国会で雇用保険の改正案が上程されています。「1年以上雇用の見込み」を「6カ月以上」に変えるというものですが、この「改正」では、わずか148万人しか救われません。短期雇用（例えば31日以上）の労働者に適用されるような改正が必要です。

また「日雇特例被保険制度」もあるものの、ほとんど機能していません。

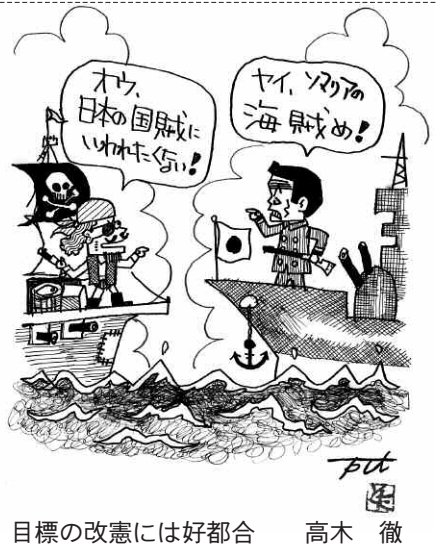
保険料の引き下げは企業負担を減らすだけで、抜本改正にはなりません。「雇用保険制度」を改正し、雇用のセーフティネットとしての制度の拡充・活用をはかることが急務です。

なんと 世界でサイテー

日本と欧米各国の最低賃金額

国　名	月　額(円)	発効年月
ルクセンブルグ	251,139	09.1
オーストラリア	219,614	08.10
オランダ	207,614	08.7
フランス	202,169	08.7
ベルギー	200,316	08.10
イギリス（22歳以上）	191,419	08.10
アメリカ	131,977	09.1
日本	122,088	08.10

※1ユーロ=153.04円、1(米ドル)=104.82円、1(英ポンド)=192.36円(08年5月～08年11月平均)、1(豪ドル)=88.37円、月額設定のない英・米は、条件をそろえるため、40時間×52週÷12で換算。　資料＝月刊全労連より



目標の改憲には好都合　高木　徹

Topics

トヨタの入るミッドランドスクエア前で「労働者派遣法の抜本改正を」と40人が宣伝。NHK・中京TVも報道。

愛労連と愛知春闘共闘主催の新春大学習会は朝日新聞編集委員の竹信三恵子さんなどが講演。182人が参加した。

愛労連09旗開きを名古屋市公会堂でおこない、88人が参加。沖縄のエイサーが軽快にオープニングを飾った。

愛知青年革新懇（青年ネット）で作家の雨宮処凛さんを招き、トークディスカッションを開催。99人が交流した。

みんなのとりくみお寄せください

単産・単組や地域でのとりくみを写真（デジタルでも可）と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。

詳しくは…
TEL 052-871-5433(龍尾)まで
E-mail　post@airoren.gr.jp

青年協ニュース AIAI NO.34

組合の歴史も楽しく学ぼう♪

福保労青年部総会でゲームを交えた学習交流

1年間がんばりま～す

1月30日、第11回福保労青年部総会をおこない、名古屋市長選挙予定候補者の太田よしろうさんも激励にみえました。

福保労の総会は二部制にしています。第一部は議案提案、第二部では楽しく学ぼう♪と組合のことが学べるゲームをしています。

第一部の総会では、会議で軽食（ホットドック・もちピザ・そうめん・ホットケーキなど）を用意したり、色々な分会に行って会議をおこなう出張青年部など、会議に集まりやすい工夫を引き続き方針として行っていくことを確認しました。

第二部ではチームに分かれてジェンガを早く積み上げるゲームと、的当てゲームを行いました。的当ては三択の問題で正解だと思うものにボールを当てるというもの。「派遣法の成立は何年？」や「組合のはじまりは？メーデー？団交？共済？どれでしょう」「愛知の最低賃金はいくらでしょう？」など、解説も交え楽しく学ぶことができました。青年が楽しく関われる組合活動を、今年も行っていきたいと思います。

（青年部発）

■最賃体験ごくろうさん会＆春闘ボウリング大会のご案内

と　き　3月15日（日）17時頃（予定）集会終了後
ばしょ　千早「ブランズウイック」
　　地下鉄「鶴舞」駅徒歩約10分
※最賃体験をしていない人も参加OK。お問い合わせ下さい。

労働市場の質の低下に歯止めを

「年越し派遣村から見た日本社会」

第10回あいち社保学校で286人が学ぶ

講演をする湯浅誠さん

第10回あいち社保学校が2月1日、労働会館東館ホールで開催されました。

午前の講演は、「反貧困ネットワーク」の事務局長で、年末年始、「年越し派遣村」で脚光を浴びた村長の湯浅誠さん。

ロビーまで人があふれ、286人が参加しました。

湯浅さんは、「年越し派遣村から見た日本社会」と題して2時間たっぷりと講演しました。

「今回のこの事態は、非正規労働者が急増してから初めての不況。今までは、仕事がたまたま継続されていただけで、危うい綱渡りが表面化したものだ」と。

そして「今の社会は『すべり台社会』で、派遣切りにあった労働者に社会保障・生活保障がほとんど効力を発しない。一度つまずくとすべり台のように社会の底辺まで落ちてしまい、貧困が固定化して、どんな条件でも働かざるを得ない『ノーと言えない労働者』が作り出されている。『派遣村』でやったことは生活の再建、『ノーと言える労働者』を作り出すことだ」と話しました。

総合相談窓口の設置・派遣先の責任追及を

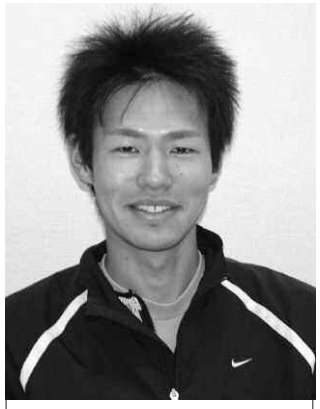
湯浅さんは続いて「『ノーと言えない労働者』を大量に出現させることは、労働市場の質を落とすことになり、正規で働いている人も含めて労働市場を低下させることにつながる」と指摘。09年までに解決すべきこととして、「シェルターと総合相談窓口の設置、中途解約に対する派遣先責任の追求、寮からの退去規制など」をあげました。

そして、正規労働者も労働組合もこの問題を自らの問題として運動していくことが重要と提起しました。

講演後、名古屋の派遣切りの実態を、日本共産党名古屋市議・鷲野恵子さんが報告。午後からは、東北大学教授の日野秀逸さんから「医療・社会保障危機と脱出方法」と題して講演がありました。

おじゃまします

NO.57　自治労連



宮脇 智司 さん
自治労連愛知県本部
名古屋水道労働組合

「今年も最賃体験にチャレンジします」と話す宮脇智司さん。「普段から家計簿をつけている」と言いますが、「今月は飲み会の予定も多いし、3日目で月額全体の10分の1は超えてしまったかも」と苦笑いです。

組合で知識を身につけよう

入職して間もなく労組に加入。「でも活動を真面目に始めたのはここ数年です」と宮脇さん。職場では「人員削減とともに仕事も道具も減らされている」と感じます。

「仕事を守るためにも知識を身につけるには、労働組合で学ぶのが一番」と活動を始め、労働学校にも通いました。

「ただ楽しく仕事をしたいだけなんです」。宮脇さんの職場は下水管の修理など外回りの仕事が中心です。「地域住民から感謝される瞬間など、やりがいがある」と話し、「先輩には勝てないです。とっさの対応、切り替えはすごい」と背中を見て学ぶ毎日です。

職場を守り楽しく働きたい

職場や組合活動を通じてプライベートで遊びに行く仲間もできました。

「このまま同じ職場で頑張っていきたいけど、来年以降の見通しが立たない」と宮脇さん。

今回の大企業による大量の派遣切りは、公務員攻撃の追い風になりかねません。「他都市に比べ、名水労の組合は強いと言われていますが、危機感を感じています」とも。

「一生懸命仕事をしているからこそ、職場に少しだけ迷惑をかけて組合活動ができるんですよね」と語る宮脇さん。

仕事と組合活動は車の両輪。現場の〝声〟が活動を支え、行政を動かします。（R）

新役員紹介

■重工産業労組
執行委員長　加藤克之／書記長　土田征夫

みんなの声

■人をモノとしか感じなくなった企業の将来は社会的批判の中で孤立していくのでしょうね。新自由主義、市場原理主義も挫折しそうに減速気味。21世紀が〝人間らしさ〟をとりもどす時代になるような気がします。組合加入、組合づくりと厳しい中で光明を照らす闘いが前進していることがうれしいですね。（年金者組合・原田寛）

■要求書を出しても期限内に回答がない。それも期限が過ぎてから、こっちが言ってはじめて回答を出す。おかしくない？（郵産労・原口幸隆）

■榛名湖のダイヤモンド富士いいですね～。ピシッと心がひきしまる感じがします。「山歩」なくなるのは残念ですね。（愛高教・寺村博幸）

■名古屋がもっと福祉に力を入れていってほしいので市長選を応援していきたいと思っております。（名古屋市職労・諸戸三和子）

【クイズの答え】
前号186号（1月号）クロス・漢字ワードパズルの答えは「キンガシンネン（謹賀新年）」でした。
正解者の中から抽選で10名の方に図書カードを送ります。

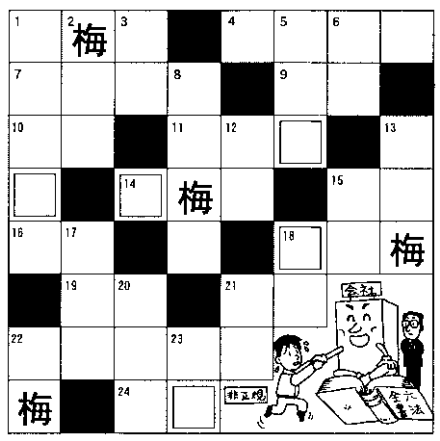
名古屋市長選予定候補者
太田よしろうさん 事務所のご案内
〒460-0011
住所　名古屋市中区大須4-14-57　山岸ビル１階
電話　052-243-4460　FAX　052-243-4461
交通　地下鉄「上前津」駅　②番出口から東へスグ

今後の主な日程

■くらしの相談会
2月22日(日)12:00～
栄・スカイル前
■愛知派遣切り抗議大集会
2月22日(日)13:00～
東海テレビ・テレピアホール
■3・1ビキニデー
2月28日(土)～3月１日(日)
静岡県焼津市
■金属労働者東海のつどい
3月1日(日)14:00～
栄・名古屋市教育館
■地方分権･道州制を考える市民対話集会
3月7日(土)14:15～
県産業貿易館本館特別会議室

クロス・漢字ワードパズル

《解き方》「梅」は「ウメ」または「バイ」と読んでください。二重ワクの５文字をうまくならべると言葉ができます。ヒントは中の絵。



■ヨコのカギ
1　同姓……の人もいます
4　ＮＨＫ大河「天地人」の主役は……聡さん
7　サザエ料理といえば……
9　夜空にきらめく
10　碁や将棋のプロのこと
11　本番前に……演習をする
14　無罪……になる
15　……二つのそっくりさん
16　赤い実は食べられます
18　自動……機は便利です
19　独唱、独奏
21　「表」の反対
22　蟹工船が缶詰に加工したものは？
24　……を割ったような性格

■タテのカギ
1　2つの宇宙船が……
2　見ただけですっぱい！
3　……というほど食べた
5　保温・保冷容器。
6　……瓶
8　……に二言はない
12　人の考えや行動に心から賛成すること
13　青と紫の間
15　不在証明
17　天にまかせる大スター、……ひばり
18　WBC日本代表監督
20　いろりのそば
21　「海胆」「雲丹」と書きます
22　薄利……の出血サービス
23　転落事故に注意！

※ハガキに答え、住所、氏名、組合名と近況や紙面に対する感想・意見を記入の上、3月5日までに愛労連（〒456-0006名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館3F）まで応募下さい。正解者の中から、抽選で図書カードを進呈します。なお、お寄せいただいたハガキの中から近況や感想・氏名・組合名を紙面で紹介させていただきます。

労働相談の窓

労組加入・交渉で“人間の尊厳”をとりもどす

派遣切り、期間工切りが社会問題になっています。それに併せて、労働者の権利侵害も増えてきています。この間の実例を報告します。

ゴルフ場のキャディの相談です。キャディの多くは、給与が月給制ではなく、出勤歩合制とラウンド制を取り入れています。

今回の相談は、マスター室責任者とキャディの折り合いが悪く、仕事を取り上げるというペナルティがつづき、給料なしという「兵糧攻め」。キャディとしてのプライドを傷つけられ、退職を余儀なくされるという状態でした。

相談者は、ローカルユニオンに加入して交渉。トラブルの要因は「マスター室の主任にあること、ペナルティの運用の不当性」を追及。身分の保全と謝罪および慰謝料を請求。交渉の過程で相談者が「退職を選ぶ」こととなり、会社側は制度にない退職慰労金25万円と12月分の賃金を全額支払い、年休取得、会社都合退職をかちとりました。

いま、労働者の権利が〝圧殺〟されています。これをなくすには時間が必要です。労働組合に結集して、ねばり強い交渉が必要なのです。